



# としょかんだより

春の花を代表する、桜。日本では古くから“花”と言えば桜をさすほど、親しまれてきました。花見の始まりは日本後記によると、812年と言われています。今年皆さんには満開の木の下で桜を楽しむことはできましたか？文学の世界で、美しい写真集でお花見をしてみるのもいいですね。今年度も五高図書館をよろしくお願ひします！

## 図書館の利用案内

### ～ルールを守って利用するようにしましょう～

●開館時間 昼休みと放課後午後4時50分まで。



●貸出冊数 5冊（原則）

●貸出期間 2週間

●手続き 身分証明書のバーコードが必要。  
(忘れた場合は、学年・クラス・出席番号・名前を伝えること。)

●返却 必ずカウンターをとおしてから返却棚に置く。  
借りた本人が責任をもって返却しに来ること。  
**貸出期日を必ず守ること。**

●リクエスト カウンターのリクエスト用紙に記入して提出。  
(検討して提供に努めます。)

●注意事項 **本の‘また貸し’は厳禁！**  
館内は飲食禁止。  
**2週間で読み終わらない本は、返却または延長の手続きを。**  
図書館内では読書をしている人の迷惑にならないよう静かにする。  
本を紛失、破損した場合は速やかに届け出ること。

●その他 人気のある本は予約しておくと予約順に借りることが可能。

○ 入館時やカウンターでの手続きの際は、挨拶を心がけましょう！

### 昨年度の反省から

昨年度は本の返却期日を守らない人が多く、30日以上の長期延滞者が毎月30人近く見られました。誰かのルール違反で、読みたい本が読めないというのは非常に残念なことです。今年度は長期延滞をなくし、スムーズな貸出ができるよう努めていきたいと思いますので、皆さんも協力して下さい。

# 春の読書週間 4/23~5/12



2014年 第56回子どもの読書週間標語 「いつもいっしょ、本といっしょ」



本を常に持ち歩く。大人になるとそれが当たり前になっていました。苦しい時・辛い時、本を読むとなぜか心が軽くなることがあります。きっと本には人の心を癒す魔法の力があると信じています。子どもたちにはそんな一冊にめぐりあってほしいと願っています。

標語の作者・小野島健太さんの言葉より

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に始まりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われています。この期間を利用して今までに読んだことのないジャンルの本を読んでみませんか？未来につながる新しい発見があるかもしれませんよ。

① 読書週間キャンペーンとして雑誌のバックナンバーを配布します！

・NONNO・AERA・SJ・Number PATIPATI・MOEなど

※詳細は後日教室や図書館前にポスターを掲示します。



## 2014年若い人に贈る読書のすすめ

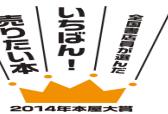
「若い人に贈る読書のすすめ」は、成人式・卒業式など新たな人生の一歩を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介する運動です。

公益社団法人読書推進運動協議会では、毎年「若い人にぜひ読んでもらいたい本」を選定してリーフレットを制作し、全国の公共図書館・書店などに配布する活動を行っています。

今年発行されたリーフレットに掲載されている本を紹介します。（○は所蔵あり）

『野心のすすめ』	林真理子	○	『何者』	朝井リョウ	○
『神去なあなあ夜話』	三浦しづん	○	『本当に英語を話したい君へ』	川島永嗣	
『心』	姜尚中	○	『20歳からの人生の考え方』	外山滋比古	
『地方にこもる若者たち』	阿部真大		『死の淵を見た男』	門田隆将	
『わたしは自分で話します』	たかおまゆみ		『挫折を愛する』	松岡修造	
『やらなきゃゼロ』	鈴木直道		『働くために必要なこと』	品川裕香	
『教室（スクール）カースト』	鈴木翔		『薔薇とビスケット』	桐衣朝子	
『かあちゃん取扱説明書』	いとうみく		『ぼくは、図書館がすき』	漆原宏	
『企画立案の教科書』	斎藤誠		『人間にとって成熟とは何か』	曾野綾子	○
『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』	村上春樹	○			
『このTシャツは児童労働で作られました』			シモン・ストランゲル		
『スマスの本棚 新しい自分が見つかる読書』			テレビ東京報道局		
『恋愛合格！太宰治のコトバ66』			高野てるみ		

# 2014年本屋大賞決定



全国の書店員が最も売りたい作品を決める「2014年本屋大賞」が8日発表となり、和田竜さんの「村上海賊の娘」が大賞に輝きました。これまで大賞受賞作は全作品がベストセラーとなり、映画、ドラマなどの映像化もされています。大注目の1冊！皆さんもぜひ読んでみましょう。



時は戦国、西暦1576年。長篠の戦いの翌年、信長は敵対勢力の一一向宗大坂本願寺を叩き潰そうとしていた。大坂本願寺は後に大阪城になる場所であり、当時は海に近かったこともあります。信長は海からの攻略を画策した。本願寺側は中国地方の雄、毛利氏に援軍を要請した。

毛利は、信長と組んで本願寺を叩くか、それとも上杉謙信と組んで信長を叩くかの決断を迫られていた。そんな中、「海賊王」村上武吉の娘・景（きょう）は難波へ向かう。戦乱の中に、海賊の娘が飛び入り、どうなってしまうのだろうか…。破天荒で型破りな主人公から目が離せません。時代小説ものが苦手な人でもついつい夢中になってしまふ面白さです！上下巻とも図書室に置いてありますので、話題の一冊ぜひ読んでみて下さい。

## 2位 『昨夜のカレー、明日のパン』



木皿泉

7年前、25歳で死んだ一樹。嫁のテツコヒー樹の父は周りの人々と共にゆるゆると彼の死を受け入れていく。

## 3位 『島はぼくらと』



辻村深月

瀬戸内海の小さな島に暮らす4人の高校生の物語。共に過ごす最後の季節が淡く切なく描かれている。

## 4位 『さようなら、オレンジ』



岩城けい

オーストラリアの田舎町に流れてきたアフリカ難民サリマ。職業訓練校で英語を学び始める…。

## 5位 『とっぴんぱらりの風太郎』



万城目学

天下は豊臣から徳川へ。京で“ぼんくらな日々”を送る「二ート忍者」風太郎の奇妙な物語。

## 6位 『教場』



長岡弘樹

「君には、警察学校を辞めてもらう」。この教官に睨まれたら、終わりだ。全部見抜かれる。誰も逃げられない…。何もかもが新しい“警察学校”小説。

## 7位 『ランチのアッコちゃん』



柏木麻子

三智子のランチは1週間、アッコ女史の指令のもとに。読むほどに不思議と元気が湧いてくる新感覚ビタミン小説。

## 8位 『想像ラジオ』 いとうせいこう

## 9位 『聖なる急け者の冒険』 森見登美彦

## 10位 『去年の冬、きみと別れ』 中村文則

春は読書から！  
ビーンと一緒に！

# 新着図書案内



## 【文学】

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 『ライトゲーム』 松葉健司      | 『独走』 堂場瞬一         |
| 『月と太陽』 濑名秀明        | 『猫を拾いに』 川上弘美      |
| 『あなたの人生片づけます』 垣谷美雨 | 『はなとゆめ』 沖方丁       |
| 『仔羊の巣』 坂本司         | 『弁当男子』 池田将友       |
| 『ようこそ授賞式のタベに』 大崎梢  | 『きみはダイジョブ？』 石田衣良  |
| 『天使の柩』 村山由佳        | 『悪医』 久坂部羊         |
| 『二重螺旋の誘拐』 喜多喜久     | 『花咲小路一丁目の刑事』 小路幸也 |
| 『上流階級』 高殿円         | 『便利屋サルユリ』 両角長彦    |
| 『君のいた日々』 藤野千夜      | 『女子漂流』 中村うさぎ      |
| 『根源へ』 執行草舟         |                   |

## 【社会・法律・経済・教育】

- |                                 |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| 『裁判員の頭の中』 田口真義                  | 『子どもの難問』 野矢茂樹          |
| 『こんな学校あったらしい』 辻正矩               | 『今日から使える心理学』 渋谷昌三      |
| 『偏差値37なのに就職率9割の大学』 堀口英則         | 『リーダーシップとは言葉の力である』 斎藤孝 |
| 『カイシャ語』 福田總                     | 『禅的生活ダイエット』 朴野俊明       |
| 『教員採用のカラクリ』 新井立夫                | 『自分を力タチにする授業』 長谷部葉子    |
| 『日経キーワード 2014-2015』             |                        |
| 『格付けしあう女たち』 白河桃子                |                        |
| 『これから日本経済より大切なこと』 池上彰           |                        |
| 『世界でいちばんユニークなニッポンだからできること』 櫻井孝昌 |                        |
| 『15歳から、社長になれる』 家入一真             |                        |

## 【哲学・心理】

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 『子どもの難問』 野矢茂樹          | 『禅的生活ダイエット』 朴野俊明    |
| 『今日から使える心理学』 渋谷昌三      | 『自分を力タチにする授業』 長谷部葉子 |
| 『リーダーシップとは言葉の力である』 斎藤孝 |                     |
| 『禅的生活ダイエット』 朴野俊明       |                     |
| 『自分を力タチにする授業』 長谷部葉子    |                     |

## 【スポーツ】

- |                  |
|------------------|
| 『全力疾走』 西岡剛       |
| 『山で正しく道に迷う本』 昆正和 |
| 『箱根駅伝コトバ学』 生島淳   |

## 【科学・医学】

- |                      |
|----------------------|
| 『快腸！絶好腸！快便力！』 松池恒夫   |
| 『気が遠くなる未来の宇宙の話』 佐藤勝彦 |
| 『謎の海底サメ王国』 田所稔       |
| 『富士山噴火の歴史』 都司嘉宣      |

## 【芸術・美術】

- |                       |
|-----------------------|
| 『迷いながら強くなる』 羽生善治      |
| 『風立ちぬを語る』 岡田斗司夫       |
| 『まちモジ』 小林章            |
| 『みさおとふくまる』 伊原美代子      |
| 『休息びより』 石田百合絵         |
| 『モット！となりの席は外国人』 あらた真琴 |
| 『はまゆりの頃に』 田代一倫        |

## 【料理】

- |                         |
|-------------------------|
| 『東大おやつ教室』 佐藤隆信          |
| 『乾物の本』 南風食堂             |
| 『日本全国ご飯のとも』 沼田美子        |
| 『オカザえもんのハ兆味噌レシピ』 岡崎衛門之介 |

## 【地理・歴史】

- |                            |
|----------------------------|
| 『秀吉ではなく家康を天下人にした黒田官兵衛』 跡部蛮 |
| 『ギリシャ人の真実』 柳田富美子           |
| 『北極界』 萩田泰永                 |
| 『新版 環境と文明の世界史』 石弘之         |
| 『世界ナンバー2列伝』 山田昌弘           |



